

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	1企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんひろしまこうきょうがくきょうかい	団体ウェブサイトURL	http://hirokyo.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 東谷法文		
制作団体所在地	〒 730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル2F	最寄り駅(バス停)	舟入本町駅
電話番号	082-532-3080		
ふりがな 公演団体名	ひろしまこうきょうがくだん 広島交響楽団	団体ウェブサイトURL	http://hirokyo.or.jp/
代表者職・氏名	音楽総監督 下野竜也		
公演団体所在地	〒 730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル2F	最寄り駅(バス停)	舟入本町駅
制作団体 設立年月	1963年 10月		
制作団体組織	役職員 会長:池田晃治 副会長:岡島鉄也、田村興造、松村誠 理事長:東谷法文 専務理事:草田博 常務理事:畑中修 他理事:20名 監事:木村謙、新納慎治 事務局長:井形健児 管理部長:山本章彦 他9名 (公認会計士)田中茂	団体構成員及び加入条件等 (1) 団体構成員/音楽総監督1名、終身名誉指揮者1名、コンサートマスター2名、首席奏者2名、団員70名(内空席9名、順次補充予定) 計76名 (2) 主な構成員/音楽総監督:下野竜也、終身名誉指揮者:秋山和慶、第一コンサートマスター:佐久間聡一、コンサートミストレス:蔵川瑠美、首席ヴァイオリン奏者:安保恵麻、首席チェロ奏者:マーティン・スタンツェライト (3) 加入条件/ 楽団員は、公募のオーディションにより採用	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名	金森陽大
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	畑中修

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和38年10月「広島市民交響楽団」として発足。昭和44年広島交響楽団と改称。昭和47年9月社団法人「広島交響楽協会」の認可を受けプロの楽団として改組。昭和59年5月渡邊暁雄が音楽監督に就任。昭和61年4月高関健が音楽監督就任。平成2年4月田中良和が音楽監督就任。平成6年5月十束尚宏が音楽監督就任。秋山和慶が平成10年4月に首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任の後、平成16年4月より常任指揮者に就任。平成29年4月より下野竜也が音楽総監督に就任し、秋山和慶は終身名誉指揮者に就任。</p> <p>平成3年ウィーン・プラハ「国連平和コンサート」2公演、平成9年フランス「ノルマンディーの10月」音楽祭2公演、平成15年ロシア・サンクトペテルブルク2公演、平成17年日韓友情年・韓国公演3公演の海外公演を行う。平成23年4月公益社団法人に移行。平成27年8月終戦・被爆70年の周年事業として「平和のタベ」コンサートを初のサントリーホールにて開催、ソリストにマルタ・アルゲリッチを迎え、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、天覧公演を行った。平成28年4月にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデがミュージック・パートナーに、令和元年7月に細川俊夫がコンポーザー・イン・レジデンスに就任。令和4年9月プロ改組50周年を迎えた。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>小学校～高校生を対象とした音楽鑑賞教室を毎年20～30公演、学校の体育館などで実施しています。また、当団の主催事業として地域内を巡回する青少年向けのコンサートのほか、広島県などの派遣事業で、児童を対象としたでのワークショップやアウトリーチの実績もあります。</p> <p>令和3年度実績 オーケストラ音楽鑑賞教室 13回 計5,810名が鑑賞 巡回演奏会「マイタウンオーケストラ広響」1回 計842名が鑑賞</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>音楽鑑賞教室などでの公演実績があります。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 広島交響楽団 】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	「ようこそ！オーケストラの世界へ」				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【第1部：交響曲を生で聴いてみよう！】</p> <p>♪ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調 作品65『運命』（全曲） 第1楽章 アレグロ・コン・プリオ 第2楽章 アンダンテ・コン・モート 第3楽章 アレグロ 第4楽章 アレグロ ～休憩～</p> <p>【第2部：オーケストラを楽しもう！】</p> <p>♪マエストロの楽器紹介～クイズ de オーケストラ～（♪ジョン・ウィリアムズ：『スターウォーズ』メインテーマ） ♪J.S.バッハ：G線上のアリア（管弦楽組曲第3番より） ～あなたも名指揮者～ ♪指揮者体験コーナー（♪ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番より） ～みんなで歌おう！～ ♪校歌 ～全身で感じよう！迫力のサウンド～ ♪ホルスト：組曲『惑星』より 木星 （アンコール）♪外山雄三：管弦楽のためのラプソディー より『八木節』</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況		
演目概要	別添①				
演目選択理由	別添①				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	別添①				
出演者	<p>指揮とお話：【6月】鈴木織衛/【10月】下野竜也（広島交響楽団音楽総監督） 管弦楽：広島交響楽団 （編成予定）1stVn:12,2ndVn:10,Va:8,Vc:7,Cb:5 Fl:3,Ob:3,Cl:3,Fg:3 Hr:6,Tp:3,Tb:3,Tuba:1 Timp&Perc:6 Hp:1</p>				
本公演 従事予定者数 （1公演あたり） ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 75 名	運搬	積載量： 4 t		
	スタッフ： 7 名		車長： 9.69 m		
	合計： 82 名		台数： 2 台		


本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度		
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出		
	10時	10時～12時		13時30分～15時	10分	15時～16時	16時		
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月	10月				
	9日				9日				
	11月	12月	1月	計		18日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。								
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安	会場に収容できる人数				
				鑑賞人数目安	会場に収容できる人数				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出や がわかる写真)</p> <p>※採択決定後、採 択団体へ図面等詳 細の提出をお願い します。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 20%;"> <p>【写真①】公演の様子 舞台は使用せず、写真の様に舞台前 フロアで演奏いたします。</p> <p>※体育館が狭い場合は、体育館の横 方向に設置する場合があります。</p> </div> </div>									

【公演団体名 広島交響楽団】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	クラス、学年単位など学校の任意でご調整ください。
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>オーケストラの演奏者数名(4～5名を予定)を派遣し、実演を交えて楽器やオーケストラ、本公演で演奏する楽曲等について解説するレクチャー・コンサートです。 本公演の内容に触れながら進行することで、児童・生徒の本公演への期待を高めます。 コンサートの途中には、リズムの要素を取り入れた体験型演目を児童・生徒と触れ合いながら楽しく行います。 また希望があれば吹奏楽部の指導などにも対応させていただきます。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>ワークショップでは、プロの演奏家たちによる実演や解説を行うことにより、楽器やオーケストラに興味を持っていただき、本公演の内容への関心を高めることをねらいとしています。 また体験的な内容を与えることにより、児童・生徒と演奏者との交流を深め、演奏家がどのようなことを感じ、考えて演奏活動に取り組んでいるかということを直接伝えることも意図しています。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<div data-bbox="448 1491 887 1809" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="935 1626 1193 1688">【写真②】 ワークショップの様子</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名 広島交響楽団 】
<p>演目概要</p>	<p>広島交響楽団 音楽総監督 下野竜也プロデュースの、子供たちの感性を育む公演企画です。 本格的なオーケストラの生演奏や、指揮者自身によるトーク、楽しい体験活動など、様々な魅力が詰まっています。</p> <p>第1部では、クラシック音楽の代名詞と言えるベートーヴェンの『運命』を、全曲通してじっくりと鑑賞していただきます。 生演奏でしか感じられない音楽の力、楽章の抜粋では味わうことのできない起承転結のドラマなど、様々なことを直感的に感じていただくことにより、子供たちの感性を刺激します。</p> <p>第2部では、指揮者自身による面白いトークや解説、子供たちが楽しめる体験活動を交えた内容となっています。 『クイズ de オーケストラ』は、作品を楽器群ごとに分解して演奏し、曲名を当てるクイズです。 『指揮者体験コーナー』では、児童・生徒の代表に指揮を体験していただきます。 『みんなで歌おう!』では、児童・生徒たちにとって最も身近な音楽である校歌を、オーケストラ伴奏で合唱していただきます。 フィナーレに演奏するホルストの『木星』では、華やかで迫力のあるオーケストラの魅力を全身で感じていただきます。</p>	
<p>演目選択理由</p>	<p>第1部 数多ある音楽作品の中で最も有名な名曲『運命』を、抜粋せず全曲通して演奏することにより、音楽の魅力ストレートに伝え、子供たちの豊かな感性や発想力を育むことを意図しています。初めてオーケストラを鑑賞する子供たちにとって難しいと感じるかも知れませんが、我々が全身全霊を込めて演奏を届けることで、子供たちが音楽の力を感じ、音楽の魅力に気づくことができると考えています。</p> <p>第2部 長年に渡り音楽界の第一線で活躍し続けている指揮者自身によるトークや解説、『クイズ de オーケストラ』や『指揮者体験コーナー』などの体験活動を交えて、能動的に指揮者やオーケストラについて学んでいただくことにより音楽の楽しさを体験して、音楽を愛する心を育むことを意図しています。</p> <p>第1部で本格的な音楽と存分に触れ合い、その分第2部では楽しむ。このようにメリハリをつけることにより、より効果的な公演になると考えています。</p> <p>当団音楽総監督 下野竜也の「本格的で迫力のある音楽を聴いていただきたい」という強い意向のもと、過去実績より規模が大きくなりますがより楽曲のオリジナルに近い編成で申請させていただいております。</p>	
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p>『クイズ de オーケストラ』 作品を楽器群ごとに分解して演奏し、曲名を当てるクイズです。この度はジョン・ウィリアムズ:「スター・ウォーズ」メインテーマを取り上げます。児童・生徒たちが互いにコミュニケーションを取り合い、楽器について学びながら楽しく音楽に触れることができます。</p> <p>『指揮者体験コーナー』 児童・生徒の代表にオーケストラの指揮を体験していただきます。</p> <p>『みんなで歌おう!』 児童・生徒たちにとって最も身近な音楽である校歌を、オーケストラ伴奏で合唱していただきます。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名	広島交響楽団 】
指揮者プロフィール	<p>【下野竜也 (しものたつや)】 プロフィール 広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。 1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。 2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラズブルフィル、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、カンヌPACA管、</p> <p>チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。 読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月～2013年3月)を経て、同団首席客演指揮者(2013年4月～2017年3月)として、10年余りの間にヒンデミットとドヴォルジャークを軸としつつ新作初演まで取り組む意欲的な姿勢とプログラム構成で高い評価を獲得。更に2014年4月からは京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月には、同団常任首席客演指揮者に就任。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。 これまでに、2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、平成28年第67回南日本文化賞特別賞などを受賞。鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。</p>		
オーケストラプロフィール	<p>【広島交響楽団】 プロフィール 国際平和文化都市“広島”を本拠地に“Music for Peace ～ 音楽で平和を”をテーマに活動する中国地方を代表するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。 クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の「平和の夕べ」コンサートでの共演をきっかけに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。 1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」(オーストリア)での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年8月にはポーランド・ワルシャワでの「ショパンと彼のヨーロッパ音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。高い評価を受けた2017年の下野竜也の就任披露のブルックナー：交響曲第8番の音源配信に続き、今年度、新たに下野とのブルックナー：交響曲第5番のCDもリリースした。2020年11月の大阪公演ではブルックナー：交響曲第4番「ロマンティック」を下野の指揮で熱演し、好評を博した。 「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞歴多数。</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名	広島交響楽団 】
指揮者プロフィール	【鈴木織衛 (すずき おりえ)】 プロフィール		
	<p>オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者、東京藝術大学指揮科講師。 東京藝術大学指揮科、同大学院卒。遠藤雅古、松尾葉子両氏に師事。藝大在学中より作曲家・故中田喜直氏の薫陶を受け、氏とのジョイントコンサートにより、ピアニストとしてデビューを果たす。日本屈指のオペラ団体・二期会において、数々の作品に指揮者、合唱指揮者、コレペティとして、また斉田正子、錦織健氏など人気声楽家のピアノ伴奏者として活躍した。1996年ベルリンでのドイツ室内管弦楽団定期演奏会でコンサート指揮者デビュー。2010年、オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者に就任。多くの日本のオーケストラとの共演を重ねている。2018年11月にはオーケストラ・アンサンブル金沢とヴェルディの歌劇「リゴレット」を上演し、好評を得る。</p> <p>また、ポップス等クラシック以外のアーティストにも信頼が厚く、森山良子氏をはじめ多くのコンサートを指揮、レコーディングにも参加している。広島交響楽団へは平成18年(2006年)より多くの公演に出演。特に子供のための公演については、「本物の舞台芸術体験事」の時から、現在の「文化芸術による子供の育成事業」まで文化庁主催の事業に毎年出演している。</p>		

制作団体名：公益社団法人広島交響楽協会
 令和5年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演 メインプログラム	出演者 75名	
役職	氏名 (芸名)	所属
指揮者 (6月)	鈴木織衛	客演
指揮者 (10月)	下野竜也	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	三上亮	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	石井郁子	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	岩下恵美	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	川畑美津代	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	伊達万浩	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	福澤かをり	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	宮崎美里	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	山根啓太郎	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	後藤絢子	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	柳響麗	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	竹内弦	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	緒方愛子	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	沖めぐみ	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	大心池由美	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	高和雅	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	鄭英徳	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	正田愛子	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	盛田恵	広島交響楽団
ヴァイオリン奏者	矢吹亮子	客演
ヴァイオリン奏者	川辺梓	客演
ヴァイオリン奏者	郭淑美	客演
ヴァイオリン奏者	坂本知穂	客演
ヴィオラ奏者	安保恵麻	広島交響楽団
ヴィオラ奏者	青野亜紀乃	広島交響楽団
ヴィオラ奏者	石川直子	広島交響楽団
ヴィオラ奏者	伊藤栄朗	広島交響楽団
ヴィオラ奏者	栄智宏	広島交響楽団
ヴィオラ奏者	佐々木明子	広島交響楽団
ヴィオラ奏者	伊達真帆	広島交響楽団
ヴィオラ奏者	永井啓子	広島交響楽団
チェロ奏者	マーティン・スタンツェライト	広島交響楽団
チェロ奏者	伊藤哲次	広島交響楽団
チェロ奏者	岩橋綾	広島交響楽団
チェロ奏者	遠藤和子	広島交響楽団
チェロ奏者	熊澤雅樹	広島交響楽団
チェロ奏者	小澤春菜	広島交響楽団
チェロ奏者	畑本伸夫	広島交響楽団
コントラバス奏者	飛田勇治	広島交響楽団
コントラバス奏者	藤丸大輔	広島交響楽団
コントラバス奏者	三上晶子	客演
コントラバス奏者	池田尚樹	客演
コントラバス奏者	中澤慶子	客演

役職	氏名 (芸名)	所属
フルート奏者	岡本弥生	広島交響楽団
フルート奏者	寺門恵	広島交響楽団
フルート奏者	森川公美	広島交響楽団
オーボエ奏者	板谷由起子	広島交響楽団
オーボエ奏者	柴 滋	広島交響楽団
オーボエ奏者	大西幸生	広島交響楽団
クラリネット奏者	品川秀世	広島交響楽団
クラリネット奏者	高尾哲也	広島交響楽団
クラリネット奏者	三界達義	広島交響楽団
ファゴット奏者	小澤公裕	広島交響楽団
ファゴット奏者	徳久英樹	広島交響楽団
ファゴット奏者	中村由紀	客演
ホルン奏者	倉持幸朋	広島交響楽団
ホルン奏者	山崎大祐	広島交響楽団
ホルン奏者	清澄奈津子	広島交響楽団
ホルン奏者	山岸博	広島交響楽団
ホルン奏者	野々口義典	客演
ホルン奏者	深江和音	客演
トランペット奏者	亀島克敏	広島交響楽団
トランペット奏者	金井晶子	広島交響楽団
トランペット奏者	犬飼伸紀	客演
トロンボーン奏者	清澄貴之	広島交響楽団
トロンボーン奏者	武崎創一郎	広島交響楽団
トロンボーン奏者	福原恭平	客演
チューバ奏者	古本大志	広島交響楽団
パーカッション奏者	阪口裕太	広島交響楽団
パーカッション奏者	金原俊	広島交響楽団
パーカッション奏者	小川裕雅	客演
パーカッション奏者	荻原里香	客演
パーカッション奏者	畑山洋平	客演
パーカッション奏者	伯谷英泰	客演
ハーブ奏者	佐々木千恵	客演